教科目名　国語総合　(General Japanese)

学科名・学年　：　全学科　１年
単位数など　：　必修　２単位　（前期１コマ，後期１コマ，学習保証時間 46.5 時間）
担当教員　：　山田繁伸

授業の概要

本授業は，高等学校用の検定教科書を使用する．国語を的確に理解し，適切に表現できる国語力の育成を目指す．また，互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う力を育成することと，日本の言語文化に触れて感性や情緒をはぐくむことを重視した授業としたい．なお，４単位用の教科書であるので，１，２年通して，教科書をやりあげる予定である．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(C1)**

(1) 語句の意味・用法，漢字の読み書き等に習熟し，国語の表現力・理解力を身につける．（定期試験と課題）
(2) 読む・書く・聞く・話すことの４活動を通して，伝え合う力を高める．（定期試験と課題）
(3) 優れた文学作品を読むことによって，思考力や想像力を伸ばし，心情を豊かにする．（定期試験と課題）
(4) 言語感覚を磨き，言語文化に対する関心を深め，国語を尊重してその向上を図る態度を育てる．（定期試験と課題）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7 8	現代文,評論「愛するという言葉」1 現代文,評論「愛するという言葉」2 現代文,小説「羅生門」１ 現代文,小説「羅生門」２ 古文,古文入門「児のそら寝」 古文,説話「絵仏師良秀」 古文,徒然草「高名の木登り」 現代文,評論「水の東西」	○評論を読んで体験したことや身の回りの物事について見つめ直すことができる． ○小説に親しみ,場面や心情の変化を表現に即して読み味わうことができる． ○古文を繰り返し音読し,古文の読みに慣れるともに親しみを持つことができる．	【理解の度合い】
9	前期中間試験		【試験の点数】　　点
10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 現代文,小説「なめとこ山の熊」 現代文,小説「花野」 漢文,漢文入門,訓読のきまり 漢文,格言 漢文,故事成語	○自分と物事とのかかわりについて言葉で的確にとらえ,考えを深めることができる． ○漢文訓読のきまりを理解できる． ○格言や故事成語に表現されているものの見方や考え方を理解できる．	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	現代文,評論「理解と誤解」１ 現代文,評論「理解と誤解」２ 現代文,評論「聴くということ」1 現代文,評論「聴くということ」2 古文,徒然草「奥山に，猫またと……」 古文,徒然草「同じ心ならん人と」 古文,徒然草「花は盛りに」	○論理の展開に即して内容を正確に読み取り，自分の意見を持つことができる． ○徒然草の文章表現の特色を理解できる． ○自然や人間に対する作者吉田兼好の見方，感じ方，考え方を読み取ることができる．	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】　　点
24 25 26 27 28 29	後期中間試験の解答と解説 現代文,詩 現代文,短歌１ 現代文,短歌２ 漢文,史話「臥薪嘗胆」１ 漢文,史話「臥薪嘗胆」２ 漢文,史話「鶏鳴狗盗」	○詩や短歌に親しみ,それぞれの形式や表現の特色を理解できる． ○作品にうたわれている情景や心情を表現に即して読み味わうことができる． ○やや長い漢文を読み,漢文の読解に慣れることができる． ○漢文に親しみ,史話のおもしろさを味わうことができる．	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】　　点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	課題プリントや学習課題ノートは指示に従い必ず提出すること．	【総合達成度】
教科書	小町谷照彦他,「精選 国語総合」，東京書籍．	
参考図書	「新訂 最新国語便覧」，浜島書店．	
自学上の注意	授業で配布したプリントは，別ファイルに綴じておくこと．	
関連科目	現代文，地域日本文学，日本語表現法	
総合評価	達成目標の(1)～(4)について，４回の定期試験と課題で評価する． 総合評価＝0.8×(４回の定期試験の平均点)＋0.2(課題点)．総合評価が 60 点以上を合格とする．再試験は，総合評価が 60 点に満たない者に対して実施する．受験資格は，課題を 80%以上提出している者に与える．	【総合評価】　　点